

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床心理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 水1.2	教室名	普通教室
担 当 教 員	岩野 卓	実務経験と その関連資格	公認心理師・臨床心理士・認定行動療法士・産業カウンセラー・中央労働災害防止協会認定心理相談員・ストレスマネジメント実践士			
《授業科目における学習内容》						
臨床心理学は、心に関するさまざまな問題を抱える人に対し、心理学的知識や技法を用いて実践的に関わりを持っていく分野である。理学療法士は患者に対して、リハビリによって機能の回復だけでなく、心のケアも行う必要がある。臨床心理学の歴史や主な理論、技法、関連領域について学び、これを土台にして実践に役立てる。						
《成績評価の方法と基準》						
講義後の小レポート-75%(1回5%×15回) 学期末レポート-25%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
よくわかる臨床心理学(山口 創 著)川島書店						
《授業外における学習方法》						
授業終了後は実施した範囲の復習を、教科書、配布資料、復習プリントを使って行う。						
《履修に当たっての留意点》						
適宜、予習・復習を行うこと。次回の授業に向けての事前学習の指示も授業で行う。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学の歴史を説明できる。		教科書 配布資料	【事前学習】シラバスを読む(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	ガイダンス～臨床心理学について学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な心理アセスメントを理解し、各ケースにおける適応なアセスメントを選ぶことができる。		教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	心理アセスメント～心理検査法について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ理論を理解し説明できる。		教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の周辺の理論～パーソナリティ理論について学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情の理論を理解し説明できる。		教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の周辺の理論～感情の理論と測定方法について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習理論を理解し説明できる。		教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の周辺の理論～学習理論について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知機能を理解し説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の周辺の理論～認知理論について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	児童期までの発達理論を理解し説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	発達理論～胎児期から児童期について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期期までの発達理論を理解し説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	発達理論～青年期から老年期について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	心理療法～精神分析療法について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	心理療法～行動療法について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	心理療法～認知療法について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	心理療法～クライアント中心療法について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	心理療法～様々な心理療法について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患を理解し、説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の応用～精神疾患について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学を臨床現場で役に立てるような方法考えることができる。	教科書 配布資料	【事前学習】1～15回の授業範囲の復習(40分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(20分)
		各コマにおける授業予定	臨床心理学の応用～臨床現場での応用について学ぶ。		